

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

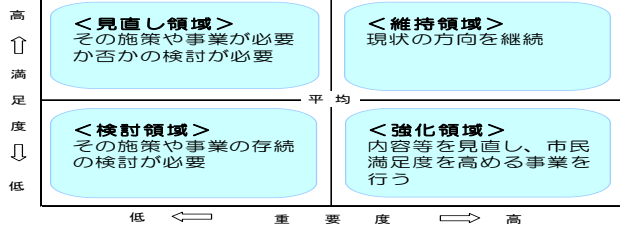
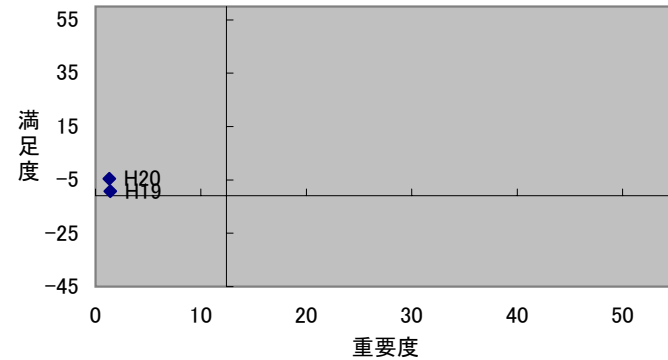
施策名 (小項目)	地域間・国際交流	コード	05-02-01	作成者	企画課長 里見 清美
		役職		氏名	里見 清美
		電話番号	64-1871	電話	64-1871

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	住民主体の協働のまちづくり
	中項目(基本施策)	ふれあい豊かなまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	市民が国際感覚を身に付け、誰もが暮らしやすいまちを目指す。特に、青少年の時から国際感覚を身に付けるため。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市の国際協力は、オーストラリアのクエア&ギルバートバレー町との姉妹都市縁組、韓国蔚山広域市東区文化院との文化交流協定を締結しており、青少年による相互交流を行っている。今後は、本市の地域資源を活用し、他地域との人的交流を促進するほか、交流地域や学校・国際交流関係機関との連携を図りながら、文化やスポーツ、観光などをはじめとする交流事業に取り組み、グローバルな視野を持った人材を育成する必要がある。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 地域間の交流事業の推進 外国人との交流の促進 外国との交流事業の推進 外国人への支援 	

④市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	1.4	1.3	
満足度(%)	-9.2	-4.6	



調査結果に対するコメント、市民の反応等
 調査対象でない施策の場合は、市民の反応等

満足度も重要度も低く、市民の関心は低い。また、「市政に関する意見」にも国際交流事業に関する意見はなかった。しかしながら、国際化の進展により、青少年の国際交流事業は活発化させる必要がある。

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28		
1 八塔寺国際交流ヴィラ利用者数	目標	人/年	850	850	850	850	850		利用者が多いと国際化が進展する
	実績	人/年	875	836	851				
	達成率	%	102.9	98.4	100.1				
2 備前市国際交流協会会員数(個人)	目標	人	50	80	90	95	100	110	会員数が多いと国際交流の理解度が高まる
	実績	人	33	78	82				
	達成率	%	66.0	97.5	91.1				
3 備前市国際交流協会会員数(法人)	目標	社	10	10	11	12	12	15	会員数が多いと国際交流の理解度が高まる
	実績	社	5	10	10				
	達成率	%	50.0	100.0	90.9				
4	目標								
	実績								
	達成率	%							

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20 当初予算 直接事業費		
				H17			H18			H19					
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数			
1 国際交流事業	C	韓国文化交流事業	その他単市	1,972	4,790	0.65	737	3,230	0.47	1,535	2,301	0.25	☆☆☆	人件費のみ	0
		オーストラリア姉妹都市交流事業	その他単市	5,776			760			5,546	1,617	0.18	☆☆☆	人件費のみ	0
		国際交流支援業務	内部管理							0	896	0.11	☆☆☆	人件費のみ	0
		県南オーストラリア州友好協会会費	内部管理	10			10			10	411	0.05	☆☆	人件費のみ	10
		県国際交流協会会費	内部管理	10			10			10	0	0.00	☆☆	人件費のみ	10
		市国際交流協会助成金	内部管理	20	0	0.00	110	840	0.15	88	0	0.00	☆☆	人件費のみ	58
		中国雑技団招聘事業	国県補助事業							500	404	0.05	☆☆	H20終了	400
		県日中懇話会会費	内部管理	10			10			10	0	0.00	☆☆	人件費のみ	10
2 国際交流ヴィラ管理事業	B	朝鮮通信史400周年記念事業	内部管理						100	0	0.00	☆☆	人件費のみ	0	
		国際交流ヴィラ管理事業	施設維持管理	2,458	600	0.10	3,209	840	0.15	2,815	524	0.07	☆☆	人件費のみ	1,544
		国際交流ヴィラ運営協議会負担金	その他単市	356			356			356	0	0.00	☆☆	人件費のみ	356
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				H17	H18	H19	H20当初(直接事業費)								
				10,612	5,390	0.75	5,202	4,910	0.77	10,970	6,153	0.71			2,388

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
備前市国際交流協会等	中国雑技団招聘事業	中国文化交流フェスティバル実行委員会事業の一環として実施
学校教育課	ALT事業	児童・生徒にも交流の機会を設けることができる
備前市国際交流協会	外国人受入れ事業	協会独自の事業として、アメリカ訪問団を受け入れる。

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度(中・長期目標に対する)	3	韓国・豪州からの児童・生徒の受入れ事業を実施した。八塔寺国際交流ヴィラの利用者は前年より増加した。	3	予定通り交流事業を実施できた。
2 事業構成の適当性	3	国際感覚を養うための交流事業は、引き続き実施する必要があることから、事業構成は適当である。	3	国際感覚を養うために必要な事業である。
3 施策の有効性(評価年度の目標達成)	3	国際協力社会である以上、交流事業である受入れ事業、招聘事業、国際交流ヴィラの管理運営事業は必要である。	3	外国人の受け入れ等、いずれの事業も有効に機能している。
担当への指示(今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	韓国・豪州との交流は、参加者には大変好評であり、こうした国際交流事業の際には、積極的に市民にアピールしていく必要がある。また、八塔寺国際交流ヴィラの収益を上げるためには、積極的にPRして、利用率の向上を図る必要がある。		ヴィラの収益向上について、具体的な対策を実施すること。交流を、全市的に広げていくこと。	
二次評価者コメント	国際化は、行政課題の一つであり、韓国、オーストラリアとの交流は、今後も続けていく必要がある。ただ、その成果が活かされているのかみえないところがある。今後は、成果がみえる形で、事業を展開していく必要がある。			基本施策への貢献度
役職 総務部長 氏名 森山 純一				3中立